

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	平成30年度「子どもの読書活動研修会」	
期日	平成30年11月28日（水）	
参加者	87名	
日程	【開会行事】	13:50～13:55
	【説明】 「子どもの読書活動について」 福岡教育事務所 社会教育主事	13:55～14:05
	【テーマ別研修】	14:05～15:45
	実践発表・講話コース	実技コース
	【実践発表】 14:05～14:50 「子どもの歯医者が作った『絵本と図鑑の図書館』」 発表者 ビブリオキッズ 司書・読書アドバイザー 安藤 宣子 氏 ～休憩10分～	【演習】 14:05～15:45 「POPは楽しい！ 手作りPOPの魅力と作り方教室」 講師 POPインストラクター 片山 茂 氏
	【講話】 15:00～15:45 「マンガ史から考える 『子どもの読書』にとってのマンガ」 講師 北九州市漫画ミュージアム 専門研究員 表 智之 氏	
【研修のまとめ】	15:45～16:00 県立図書館企画協力課普及係長 高橋 依子 氏	
【閉会行事】	16:00～16:05	

活動の実践

【実践発表】

「子どもの歯医者さんが作った『絵本と図鑑の図書館』」

歯医者さんが作った図書館の取組の発表でした。ビブリオキッズのコンセプトでもある「子どもたちがいつもまん中、ペンギンのコロニーのように」のモデルになるような取組で子どもたちの個性を伸ばし、地域の子育て支援につながる話を聞くことができました。ビブリオキッズが登録した「絵本の日」、「図鑑の日」や歯医者さんの待合室でも行われているお話会など、子どもたちを絵本の世界に引き込むアイデアが素晴らしいと思いました。

【講話】

「マンガ史から考える『子どもの読書』にとってのマンガ」

マンガというメディアの特長を踏まえ、「漫画は頭を使って読むもので読み方がある」など、その効果についても教えていただきました。参加者からは、「学校での取り入れ方など、しっかり見極めて考えていきたい。」、「漫画が時代の流れを表していることが分かった。」、「目からうろこの話でした!」など、新しい視点やヒントをもらったという感想が多かったです。

【演習】

「POPは楽しい! 手作りPOPの魅力と作り方教室」

ポップの特性やポップ作りのポイントなど演習を通して教えていただきました。会場には片山氏の作品がずらりと並び、作品を見ているだけでも創作意欲が掻き立てられました。短時間でたくさんの作品が生まれました。感想には、「時間があつという間でした。学習でも取り入れたい。」などがありました。



【実践発表 ビブリオキッズ 安藤 宣子 氏】



【講話 北九州市漫画ミュージアム

表 智之 氏】



【片山氏の作品と研修会の様子】



【演習 POPインストラクター

片山 茂 氏】

全体をおして

学校司書や司書教諭をはじめ図書館職員、読書ボランティア、行政職員など、たくさん参加がありました。幅広いニーズに応えるために、実践発表・講話コースと実技コースを選択する形で行ったことも成果の一つだと考えました。また、歯医者さんが作った図書館の取組や漫画から子どもの読書を考えることなど子どもの読書活動を推進していくためのアプローチの仕方には様々な方法があると感じました。また、POP作りを通して読書の楽しさを広げるなど子どもたちの読書活動を魅力あるものにする可能性も体験的に学ぶことができたのではないかと思います。研修会後に行われた読書活動推進連絡会議では、「選書についての内容も入れてほしい」など次年度の研修会につながる助言も頂きました。今後も学校、地域、家庭での子どもの読書活動推進の在り方について、様々なニーズに応えられるような研修会にするように工夫を重ねていきたいと思ひます。